



新牧場の概要を話す延與社長（右）と、同席した飯田町長（左）

トンを計画しており、全体で道内トップクラスの8万5000トンの出荷量になる見込みだ。

畑作農家と連携強化

ノベルズは「地域共生」プロジェクトを展開。新牧場はデントコーン栽培を地域農家に委託、バイオガス発電で出る消化液を安価で販売し良質な飼料生産につなげてもらう。デントコーンは3カ年で1000ヘクタールの規模を予定している。バイオガスプラントで発電された電気は全量、北電に売電する予定だ。

よつ葉乳業が50周年 国内4位に成長 売上高1000億円

2017年1月22日



創業50周年のよつ葉乳業で主力となる「十勝主管工場」（音更）

道内乳業大手のよつ葉乳業（札幌市、有田真社長）は23日、創業50周年を迎える。酪農家のための乳業会社として十勝管内の農協を中心に設立。主力の業務用から十勝ブランドの家庭向けまで、牛乳・乳製品を幅広く手掛ける。半世紀で売上高1000億円、国内4位の乳業メーカーに成長した。

同社は1967年1月、管内の8農協が設立した「北海道協同乳業」が前身。元JA士幌町組合長で元ホクレン・全農会長を務めた故太田寛一氏が初代社長に就いた。「北海道農協乳業」を経て、ブランド名だった現社名に変更した。

83年に本社は音更町から札幌市へ移転したが、現在も定款上の本店は同町に置いている。

工場は十勝主管工場（音更町）の他、根釧や北見、宗谷、東京に構え、買い入れ乳量は67・3万トン（2015年度）。中でも十勝の12JAから生乳を集める十勝主管工場は41・6万トンと6割を占める。牛乳、チーズ、バター、脱脂粉乳などに加工され、道内外に出荷されている。15年度の売上高は1022億円で、大手乳業3社に次ぐ規模となっている。

節目に合わせて昨年からはキャンペーンや記念誌発行、CM放映の事業を行っている。同社は「本社は札幌に移しても製造部門の本社機能は今も十勝にある。大きく育ててもらった感謝の気持ちで記念事業を行いたい」としている。